# 順天堂大学医学部附属順天堂医院

# 診療科紹介

国際診療部
Department of International Healthcare
2024

# 診療科紹介

## 内科系診療科

- 総合診療科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 呼吸器内科
- 腎・高血圧内科
- 膠原病・リウマチ内科
- 血液内科
- 糖尿病・内分泌内科
- 脳神経内科
- 小児科・思春期科
- 腫瘍内科

## 外科系診療科

- 食道・胃外科
- 大腸・肛門外科
- 肝・胆・膵外科
- 乳腺科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科
- 小児外科
  ・小児泌尿生殖器外科
- 脳神経外科
- 整形外科・スポーツ診療科
- 形成外科

## その他の診療科

- 皮膚科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉・頭頸科
- 放射線科
- 産科
- 婦人科
- 救急科
- 麻酔科・ペインクリニック
- メンタルクリニック
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科

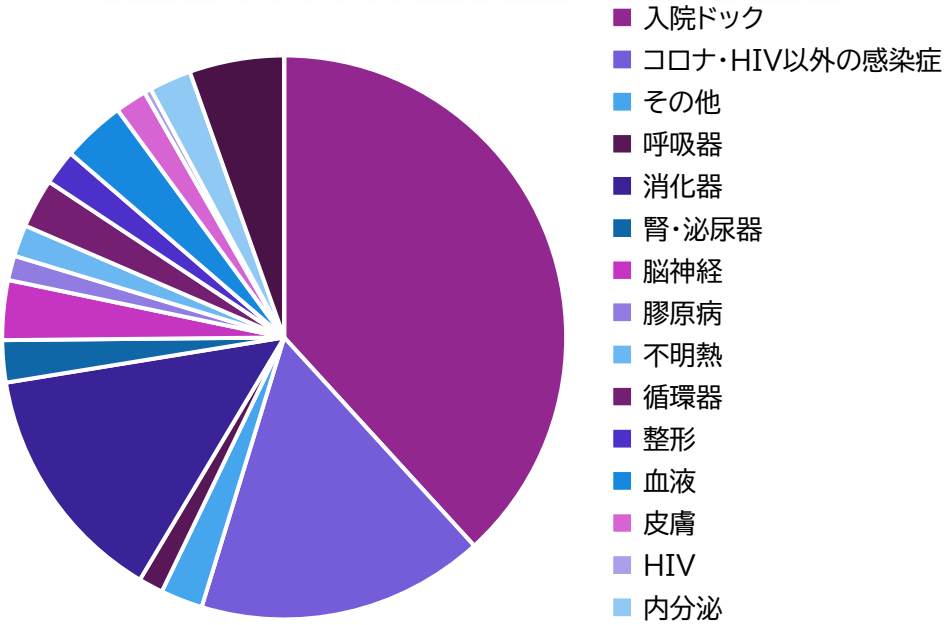
# 総合診療科

## 主な疾病/治療対象

- 不明熱、体重減少、倦怠感等の各種疾患
- 肺炎、尿路感染症、HIV、梅毒などの感染症
- 未確定診断の多臓器疾患を持つ患者の入院診療
- 救急プライマリセンターでの初診・夜間休日診療
- 生活習慣病（コレステロールや尿酸値の異常）
- 人間ドック（外来・入院ドック、PETドック）など

## 診療科の特徴

- 大学病院総合診療科では最大のスタッフ数を誇り、プライマリケア、感染症から予防医学まで幅広い領域をカバー
- 全人的医療や包括的医療を心掛ける部門として活躍
- 特殊外来であるワクチン外来、便秘外来など
- EBMを実践した予防医療・心から相談出来る主治医機能「ヘルスリテラシーを高める人間ドック」
- 順天堂医院内の感染症マニュアルの制作、院内全科に対し行う抗菌薬コンサルテーション




2023年度 疾患別入院患者の診療実績割合

# 循環器内科

## 主な疾病/治療対象

- 冠動脈疾患・閉塞性動脈硬化症
- 心臓弁膜症、先天性心疾患
- 不整脈
- 心不全・心筋症
- 肺高血圧症
- 睡眠時無呼吸症候群
- 脂質異常症

## 診療科の特徴

- 年間約400件の経皮的冠動脈インターベンション（PCI）に加え、約150件を超える経カテーテル的大動脈弁植込み術（TAVI）を施行（2023年実績）
- 不整脈治療においては、年間300件を超えるカテーテルアブレーションを施行（2023年実績）
- 都内有数の心臓リハビリテーションを順天堂医院ハートセンターにて実施し（2023年の総症例数は16,000件を超える）、学会認定優良プログラム施設認定を受けている
- 先端の画像診断を診断・治療に積極的に活用

2023年 検査・手術件数

| | | |
|---|---|---|
| カテーテル治療 | 総PCI総件数（患者単位） | 372 |
| | PTA件数（患者単位） | 122 |
| | TAVI（経カテーテル的大動脈弁植込み術）件数 | 179 |
| | MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）件数 | 16 |
| | 経皮的閉鎖術（ASD, PDA, PFO）件数 | 35 |
| 不整脈治療 | ペースメーカー植え込み件数 | 137 |
| | ICD植え込み件数 | 21 |
| | カテーテルアブレーション件数 | 346 |
| | 心臓再同期療法（CRT） ※植込み型除細動器付含む | 20 |
| 心リハ | 心臓リハビリテーション総症例数 | 16,284 |
| 心エコー検査 | 経胸壁+経食道+負荷 心エコー件数 | 17,397 |

# 消化器内科

## 主な疾病/治療対象

- 食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、膵がん、胆道がん
- ピロリ感染症、機能性胃腸症、炎症性腸疾患
- 急性肝炎、慢性肝炎（ウイルス性、脂肪性、自己免疫性）
- 肝不全、門脈圧亢進症（内視鏡・IVR）
- 胆石症、胆管炎、急性膵炎、慢性膵炎

## 診療科の特徴

- 胃底腺型胃がんの経験症例数世界No.1
- カプセル内視鏡の施行件数日本国内トップクラス
- 胆管ステント、十二指腸・大腸ステントの治療技術は世界トップレベル
- Interventional EUS　-最先端治療-
- 肝がんに対するラジオ波治療（RFA）・新世代マイクロ波治療（MWA）において、年間治療数国内トップを維持
- AI胃がん内視鏡診断支援システムの開発
- 潰瘍性大腸炎に対し、便移植法による治療研究

2023年 入院患者延数（35,617）

| | 疾患名 | 患者数 |
|---|---|---|
| 消化管 | 食道の悪性腫瘍 | 129 |
| | 胃の悪性腫瘍 | 165 |
| | 大腸の良性腫瘍 | 366 |
| | 炎症性腸疾患 | 39 |
| | 大腸の悪性腫瘍 | 103 |
| 肝臓 | 急性・慢性肝炎・肝不全 | 160 |
| | 肝臓の悪性腫瘍 | 837 |
| 胆膵 | 胆道の良性疾患 | 327 |
| | 膵臓の良性疾患 | 177 |
| | 膵臓の悪性腫瘍 | 341 |
| | 胆道の悪性腫瘍 | 84 |

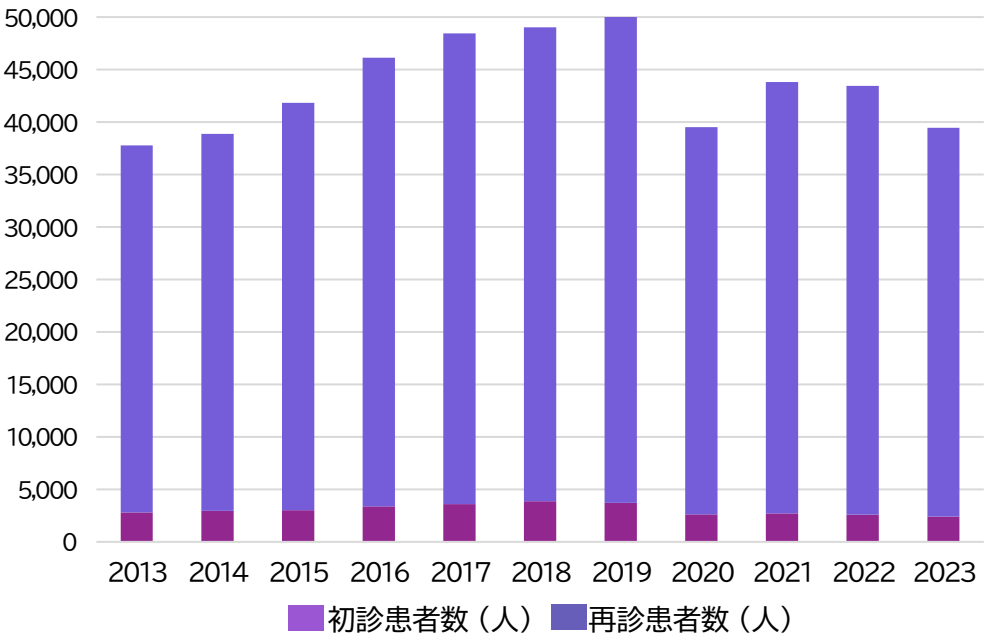
# 呼吸器内科

## 主な疾病/治療対象

- 肺がん・胸部悪性腫瘍
- 気管支喘息
- 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- 間質性肺疾患
- 呼吸器感染症
- 希少肺疾患（リンパ脈管筋腫症、肺動脈性肺高血圧症など）
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）など

## 診療科の特徴

- 1969年に開設された日本で最も古い歴史を有する呼吸器内科専門講座である
- 本邦大学病院で随一の外来・入院患者数を誇る
- 肺がんに対する化学療法を得意とし、治験・臨床試験を含めて患者に適した治療を提供
- 喘息・COPD・間質性肺炎に対し、新しい治療法をいち早く導入
- 希少肺疾患・SASについてもエキスパートが診療にあたる
- 特に胸部超音波ガイド下穿刺術は他施設にはない卓越した生検技術である




年度別　外来患者・内訳

# 腎・高血圧内科

## 主な疾病/治療対象

- 慢性腎臓病（CKD）、高血圧症、血尿、蛋白尿など
- 糸球体腎炎（IgA腎症、膜性腎症など）
- 糖尿病関連腎臓病（DKD）
- ネフローゼ症候群
- 急性腎障害（AKI）
- 血液・腹膜透析合併症
- 稀少疾患（遺伝性血管性浮腫；HAE、ファブリー病、多発性のう胞腎）など

## 診療科の特徴

- 全てのCKDステージに対して、進行抑制、合併症予防を包括的に治療
- 腎障害（蛋白尿、血尿、血清Cr上昇）の原因同定のために腎生検を施行
- 末期腎不全に対する血液・腹膜透析導入
- 透析合併症外来、糖尿病関連腎臓病外来などの専門外来・特殊外来の開設
- 持続血液濾過透析（CHDF）を必要とする病態に対し、各診療科から依頼を受け、全身状態の改善に寄与

外来診療実績

| | 外来延べ患者数 | 初診患者数<br>（うち紹介状持参患者数） |
|---|---|---|
| 2014年度 | 39,820 | 740（426） |
| 2015年度 | 41,859 | 606（434） |
| 2016年度 | 45,146 | 576（401） |
| 2017年度 | 46,252 | 568（424） |
| 2018年度 | 46,346 | 617（488） |
| 2019年度 | 45,995 | 584（460） |
| 2021年度 | 36,410 | 534（413） |
| 2022年度 | 35,827 | 557（456） |
| 2023年度 | 34,664 | 549（466） |

# 膠原病・リウマチ内科

## 主な疾病/治療対象

- 膠原病全般を幅広く診療
- 関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、炎症性筋疾患、血管炎、全身性強皮症、肺高血圧症、脊椎関節炎の疾患別専門外来がある

## 診療科の特徴

- 日本で初めて開設された膠原病専門講座である
- 様々なリウマチ性疾患の症例数が非常に多く、豊富な診療経験を有している
- 最先端の治療も積極的に取り入れ、最新の知見に基づいた適切な外来および入院診療を行っている
- 国内で全身性エリテマトーデスの患者を最も多く診療している施設のひとつであり、新規治療薬なども用いてステロイド薬はなるべく減らし、合併症にも留意したケアを実施
- ANCA関連血管炎や高安動脈炎、巨細胞性動脈炎などの血管炎の診断・治療についても力を入れており、実績が豊富
- 難治性病態、合併妊娠などにも適切な対応を行っている

2023年 疾患別入院患者数

| 疾患名 | 患者数 | 疾患名 | 患者数 |
|---|---|---|---|
| 関節リウマチ | 119 | 血管炎症候群 | 113 |
| 全身性エリテマトーデス | 127 | 抗リン脂質抗体症候群 | 25 |
| 全身性強皮症 | 54 | 成人スティル病 | 8 |
| 炎症性筋疾患 | 64 | リウマチ性多発筋痛症 | 33 |
| シェーグレン症候群 | 63 | IgG4関連疾患 | 15 |
| 混合性結合組織病 | 21 | その他 | 69 |
| ベーチェット病 | 14 | | |

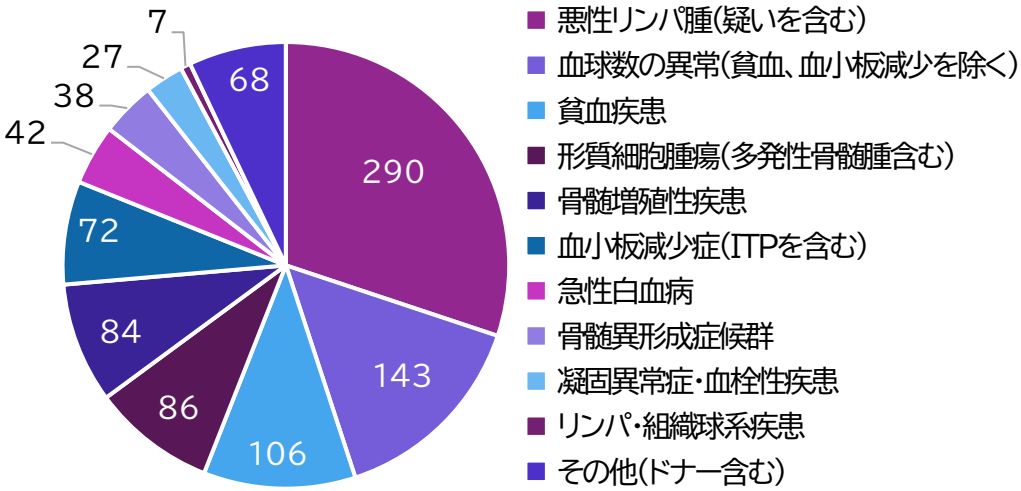
# 血液内科

## 主な疾病/治療対象

- 急性・慢性白血病(骨髄性・リンパ性)
- 悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、ALアミロイドーシス
- 真性多血症、本態性血小板血症
- 骨髄線維症
- 特発性血小板減少性紫斑病など

## 診療科の特徴

- 以下の基礎研究の成果や臨床検体を用いた解析結果を実際の治療の進歩につなげている
  - 難治性血液腫瘍に対する新規CAR-T療法の研究
  - 血液疾患に対する遺伝子診断技術の開発とその臨床応用
  - ウィルス関連リンパ腫における病態解明と新規治療法の開発
  - 移植における免疫再構築の解析
  - 多発性骨髄腫の合併症に対する探索研究
  - 慢性骨髄性白血病の早期診断法の確立と治療標的の探索
  - ALアミロイドーシスに対する新規治療の開発
- 再発難治性急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫と多発性骨髄腫に対し、CAR-T療法の提供施設に認定(市販されている全てのCAR-T製剤の投与が可能)




2023年 外来新規患者数

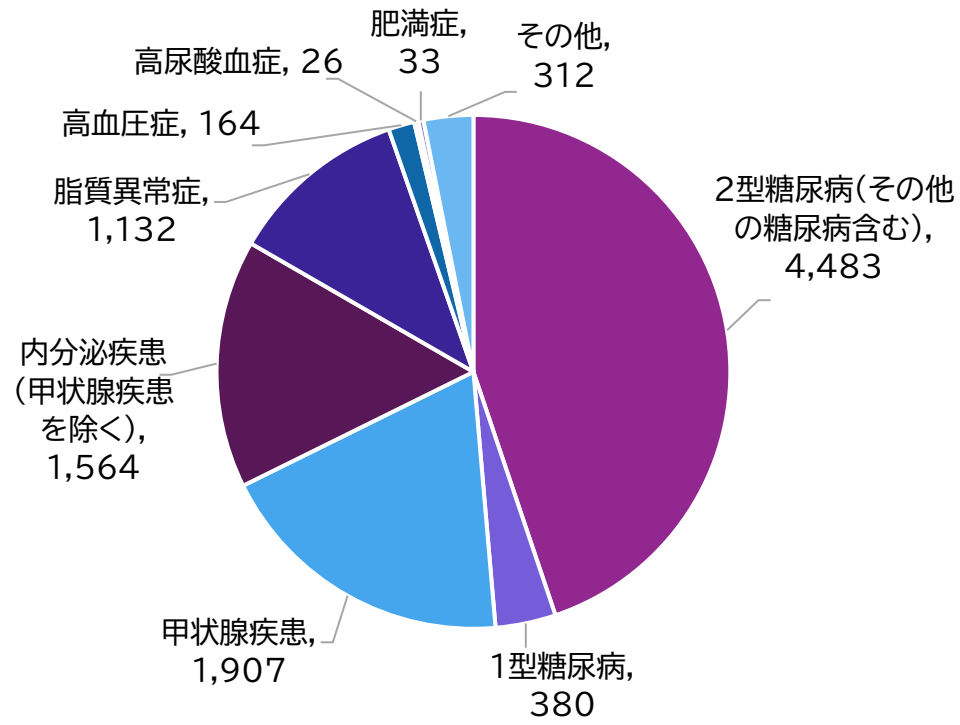
# 糖尿病・内分泌内科

## 主な疾病/治療対象

- 糖尿病
- 脂質異常症、高血圧症、高尿酸血症
- 糖原病などその他の代謝性疾患
- 甲状腺疾患（バセドウ病など）、副甲状腺疾患
- 下垂体疾患（クッシング病など）、副腎疾患（原発性アルドステロン症など）
- 肥満症

## 診療科の特徴

- 糖尿病教育入院は通常1週間、疾患知識・食事と運動の方法を習得し、インスリン分泌能や合併症を検査し、治療計画を立案
- 1型糖尿病に対してAID療法（Automated Insulin Delivery）を導入し、CGM（Continuous Glucose Monitoring）を用いた血糖コントロールを行っている
- 甲状腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診症例数は日本トップクラス
- 原発性アルドステロン症に対して、放射線科と連携しカテーテル検査にて治療方針を決定
- 脂肪萎縮症等その他の代謝疾患の診療にも携わっている
- 「減量・代謝改善手術治療チーム」に属し、高度肥満症の診療に携わっている




2023年度 患者症例数 外来患者（重複あり）

# 脳神経内科

## 主な疾病/治療対象

- 神経変性疾患：パーキンソン病とその関連疾患、アルツハイマー型認知症、筋萎縮性側索硬化症など
- 脳血管疾患：アテローム血栓性脳梗塞、脳塞栓症など
- 神経免疫疾患：多発性硬化症、重症筋無力症など
- 機能性疾患：てんかん、頭痛など
- 末梢神経障害：ギランバレー症候群、CIDPなど
- 筋疾患：皮膚筋炎、多発筋炎、筋ジストロフィーなど
- 神経感染症：髄膜炎・脳炎など

## 診療科の特徴

- Newsweek誌が選出するWorld's Best Hospitals Neurology部門では常に上位をキープしており、2024年度は世界13位（日本1位）であった
- パーキンソン病診療実績は日本最大規模で基礎研究・臨床研究共に世界をリードする業績を有する
- パーキンソン病のデバイス補助療法（脳深部刺激療法、レボドパ・カルビドパ経腸持続注入療法）治療患者数は日本最大
- 眼瞼や顔面けいれん、頸部ジストニアに対するボトックス注射や、多発性硬化症や重症筋無力症など免疫疾患の診断と治療に豊富な経験を有する

2023年度 外来診療実績

| | |
|---|---|
| 外来患者総数 | 62,262人 |
| 初診患者数 | 2,035人 |
| 再診患者数 | 60,227人 |
| 救急患者数 | 655人 |

# 小児科・思春期科(1)

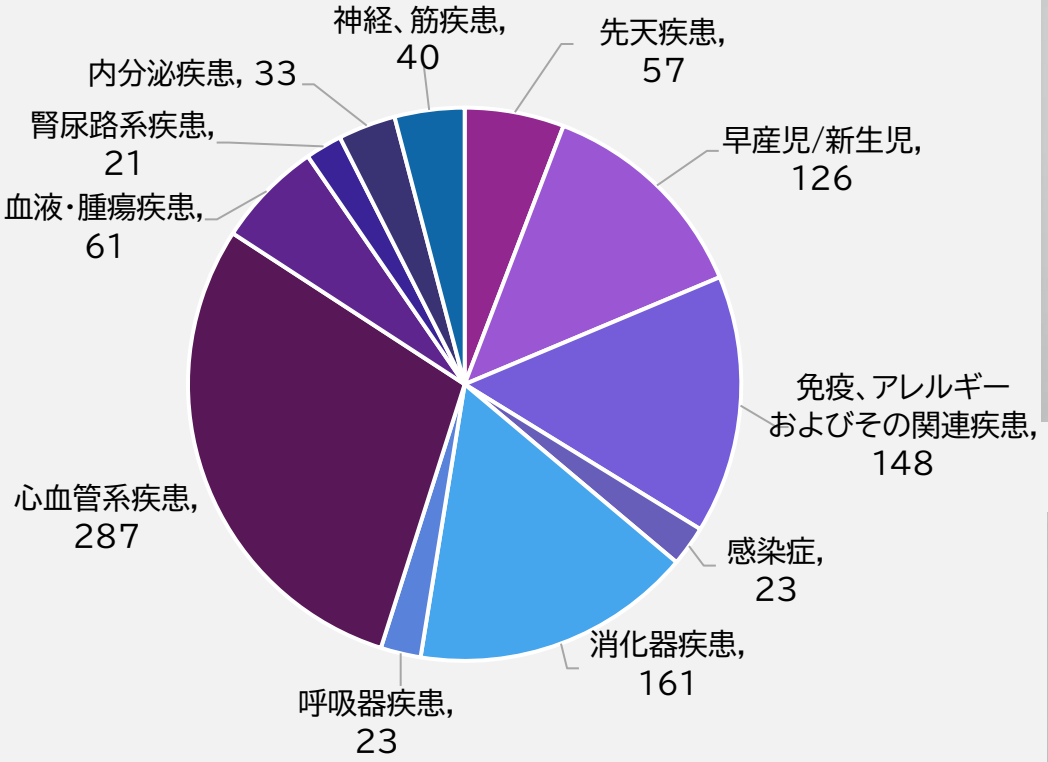
## 主な疾病/治療対象(グループ)

- 腹痛、下痢、便秘などの消化器疾患(消化管G)
- 未熟児・新生児疾患(新生児G)
- 先天性心疾患、不整脈、川崎病など循環器疾患(循環器G)
- 糖尿病など内分泌・代謝疾患(内分泌G)
- 感染症、呼吸器疾患(感染症G)
- 腎・泌尿器疾患(腎臓G)
- 白血病など血液・悪性腫瘍(血液・腫瘍G)
- てんかんなど神経疾患(神経G)
- 肝臓・代謝疾患(肝臓・代謝G)
- 喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、膠原病(免疫・アレルギー・膠原病G)
- 発達障害、児童精神疾患など(発達G)

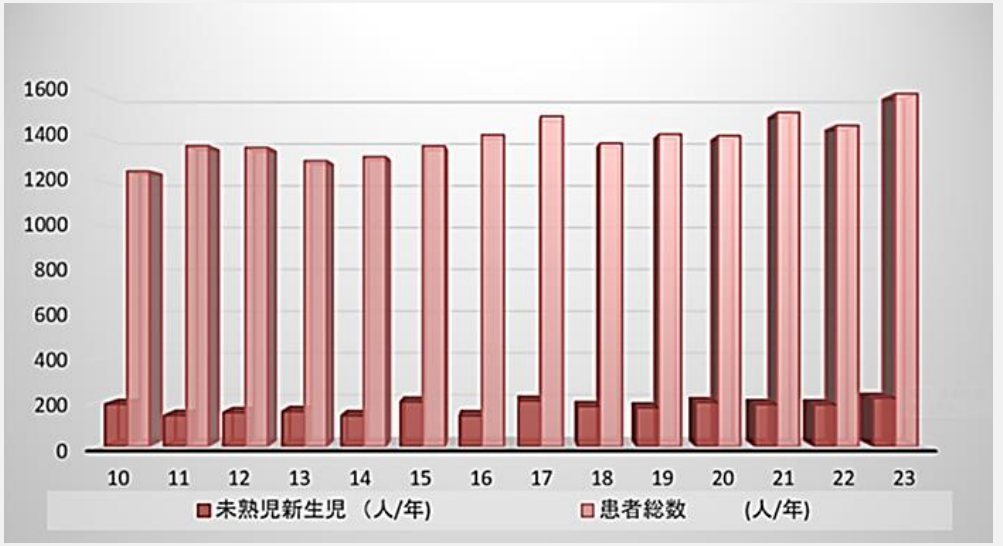
## 診療科の特徴

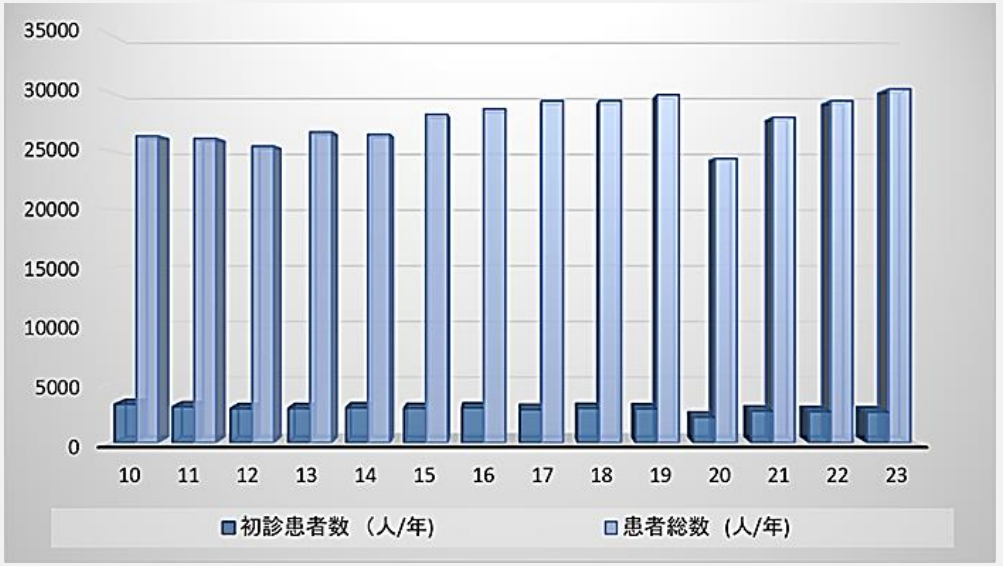
- 小児医療センターおよび周産期センターを開設し、あらゆる新生児および小児の疾患に対応
- 炎症性腸疾患、過敏性腸症候群、消化性潰瘍、難治性下痢症、膵疾患など小児消化器疾患の診療はわが国でもトップクラス
- 先天性心疾患は心臓血管外科医とともに全てに対応し、カテーテル治療、不整脈治療(カテーテルアブレーション)や川崎病冠動脈病変にも十分に対応
- インタクトサバイバルを目指して早産児の栄養管理に重点を置き、生後早期より経腸栄養と経静脈栄養を併用
- 糖尿病、低身長など内分泌・代謝疾患も専門医が対応
- 開設が少ない発達専門外来での発達フォロー実施

# 小児科・思春期科(2)




2023年度 主な疾患別入院患者の診療実績



# 腫瘍内科

## 主な疾病/治療対象

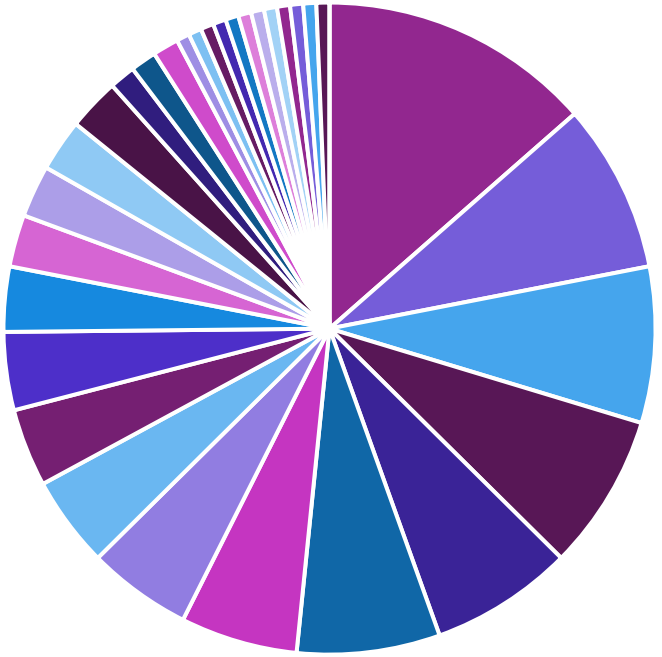
◆ 薬物療法が適応となる固形がん
（骨・軟部腫瘍、神経内分泌腫瘍、消化管間質性腫瘍、消化器がん、肝胆膵がん、原発不明がん、など）

## 診療科の特徴

◆ 薬物療法の専門科として、キャンサーボードなどの機会を通じ、他の診療科と協調して集学的な治療方針を検討、実施

◆ 治療方針の検討に当たり個々の患者さんの腫瘍細胞のがん関連遺伝子の変異プロファイルを調べるがん遺伝子パネル検査（保険診療、自由診療）を行い、がん医療における Precision Medicineの実践を行っている

キャンサーボード



2023年 疾患別外来新患者数

- 膵がん
- 大腸がん
- 卵巣がん
- 骨軟部肉腫
- 非小細胞肺がん
- 前立腺がん
- 原発不明癌
- 乳がん
- 腫瘍マーカー高値
- 肝内胆管がん
- 肝外胆管がん
- 子宮頸がん
- 脳腫瘍
- 唾液腺がん
- 食道がん
- 胃がん
- 胆嚢がん
- 縦郭腫瘍
- 心臓腫瘍
- 耳垢腺がん
- 甲状腺がん
- 脈絡膜悪性黒色腫
- 十二指腸・小腸腫瘍
- 膵神経内分泌腫瘍
- 小細胞肺がん
- 肺がん肉腫
- 悪性中皮種
- STUMP
- 尿路上皮癌
- メルケル細胞癌
- 悪性リンパ腫

# 食道・胃外科

## 主な疾病/治療対象

- 頸部・胸部食道がん、食道粘膜下腫瘍、食道裂孔ヘルニア、食道アカラシア
- 食道胃接合部がん
- 胃がん、胃粘膜下腫瘍、胃悪性リンパ腫
- 十二指腸腫瘍
- 肥満症

## 診療科の特徴

- 食道がん手術症例数は国内トップクラスであり、質の高いリンパ節郭清を行い高レベルの生存率を達成している
- 食道がん・食道胃接合部がん・胃がんに対し、主にロボット支援下・胸腔鏡・腹腔鏡下手術など、より体に負担の少ない術式を行っている
- 内視鏡的治療、術前化学療法から手術、術後補助療法や定期検査まで自科で行うことで、一貫性のある治療を提供できる
- 食道・胃の良性疾患(粘膜下腫瘍など)に対しては、内視鏡的治療、鏡視下手術などを組み合わせ、より低侵襲な治療法を提案している
- 内科的治療抵抗性の肥満症に対して減量・代謝改善手術を行っている

2023年 診療実績

| 疾患／治療名 | 件数 | 疾患／治療名 | 件数 |
|---|---|---|---|
| 胸部食道がん切除 | 60 | 腹腔鏡下胆嚢摘出術 | 16 |
| 胸腔鏡・縦隔鏡 | 35 | 鼠径ヘルニア修復術 | 21 |
| ロボット支援下 | 25 | 腹腔鏡下 | 19 |
| 開胸 | 0 | 前方アプローチ | 2 |
| 頸部食道がん切除 | 5 | 腹腔鏡下虫垂切除術 | 30 |
| 胃がん切除 | 74 | 内視鏡的粘膜切開剥離術 | 69 |
| 腹腔鏡下 | 46 | 全身麻酔下粘膜切開剥離術(咽頭、頸部食道) | 23 |
| ロボット支援下 | 28 | 食道 | 22 |
| 開腹 | 0 | 胃・十二指腸 | 23 |
| 腹腔鏡・内視鏡合同手術 | 8 | その他 | 1 |
| 肥満症手術 | 26 | | |
| 腹腔鏡下スリーブ状胃切除 | 19 | | |
| ロボット支援下スリーブ状胃切除 | 5 | | |
| 腹腔鏡下スリーブバイパス手術 | 2 | | |

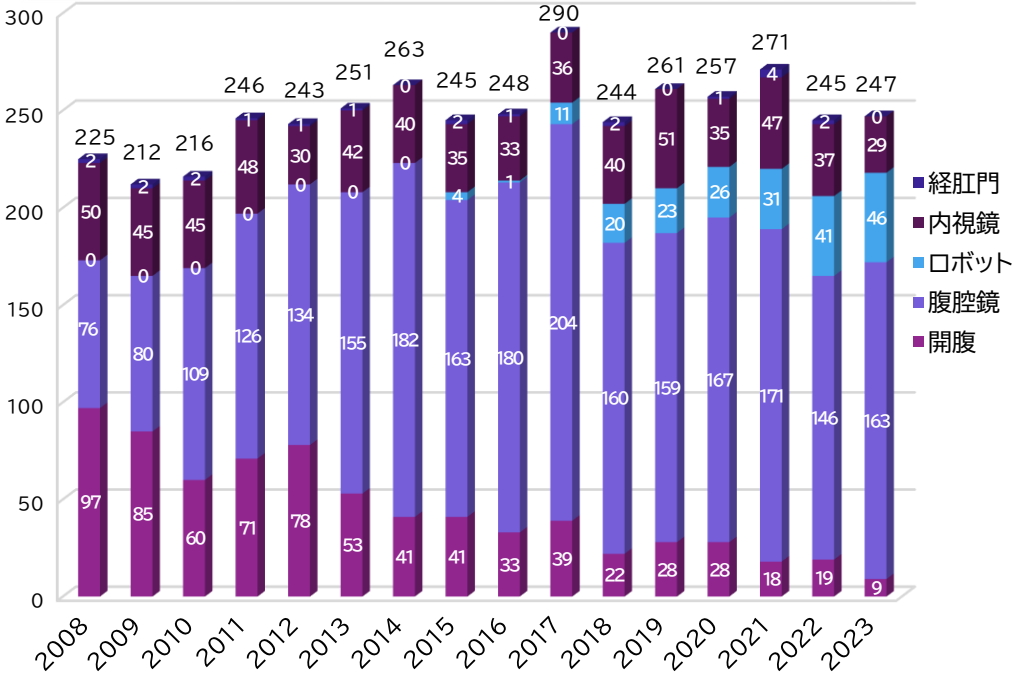
# 大腸・肛門外科

## 主な疾病/治療対象

- 大腸がん
- 大腸腺腫
- 炎症性腸疾患
- 肛門疾患
- ヘルニア疾患など

## 診療科の特徴

- 大腸癌に対するロボット手術を積極的に行い、年々症例は増加しており、2023年は、腹腔鏡下手術を含めた低侵襲手術が大腸癌手術の95%以上を占める
- 肛門機能温存を可能な限り目指し、括約筋間直腸切除術（ISR）や超低位前方切除術を施行
- 早期大腸癌には、難易度の高い内視鏡的粘膜可能剥離術（ESD）を900例以上行い、術後穿孔等で緊急手術に至った例はなし
- 早期から進行大腸癌まで、あらゆるStageの大腸癌に最適な治療を提供




大腸悪性疾患　治療症例数の推移

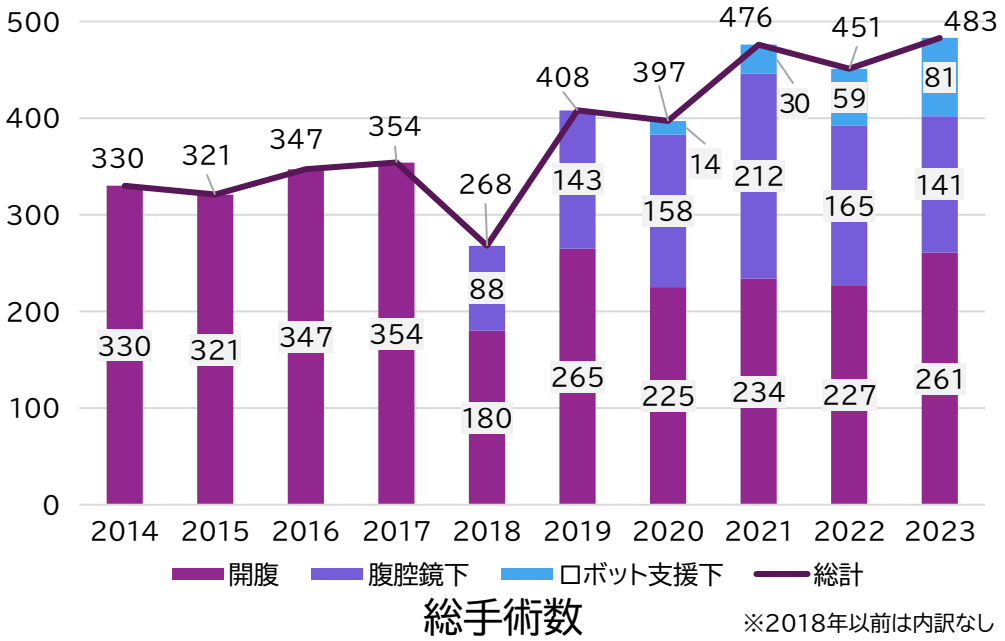
# 肝・胆・膵外科

## 主な疾病/治療対象

- 肝がん、胆管がん、胆嚢がん、膵がん、転移性肝がん
- 胆嚢炎、胆石症、総胆管結石
- 膵内分泌腫瘍
- 脾腫、脾嚢胞
- 門脈圧亢進症など

## 診療科の特徴

- 切除不能となった進行がん症例も集学的治療と血管合併切除などで治療
- ロボット支援下手術：膵切除・肝切除に対する低侵襲手術に注力し、ロボット支援下手術の実績は国内トップクラス
- 広範囲胆管がんに対し、肝膵同時切除も行っている
- 大腸肛門外科、消化器内科と合同カンファレンスを週1回行い、横断的な連携を図っている
- 生体肝移植のレシピエントの1・2年生存率98%



# 乳腺科

## 主な疾病/治療対象

- 乳腺悪性疾患(乳癌、葉状腫瘍、血管肉腫など)
- 乳腺良性疾患(線維腺腫、乳管内乳頭腫、乳腺炎など)
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群を含む遺伝性腫瘍

## 診療科の特徴

- 乳癌においては局所療法(手術・放射線療法)や全身療法(薬物療法)をガイドラインに沿いながらも、個別性の高い患者さんのニーズに配慮
- 年間の化学療法実施数は3,864件(2023年度)、治験も多数実施
- 診断から治療まで、腫瘍内科医、放射線診断・治療医、病理医、形成外科医、臨床遺伝専門医、産科医 (リプロ)、看護師、放射線技師、超音波技師、薬剤師とチーム医療を実践
- 形成外科と協力して、自家組織再建術と人工乳房再建術の両方をハイレベルで行える
- 遺伝相談、AYA世代乳癌 (妊娠期授乳期乳癌、生殖医療)、乳房再建、在宅ケア、家族ケア、支持療法・緩和ケアなど専門性の高い分野についての提供も充実

乳癌手術年次推移(乳房切除/部分切除)

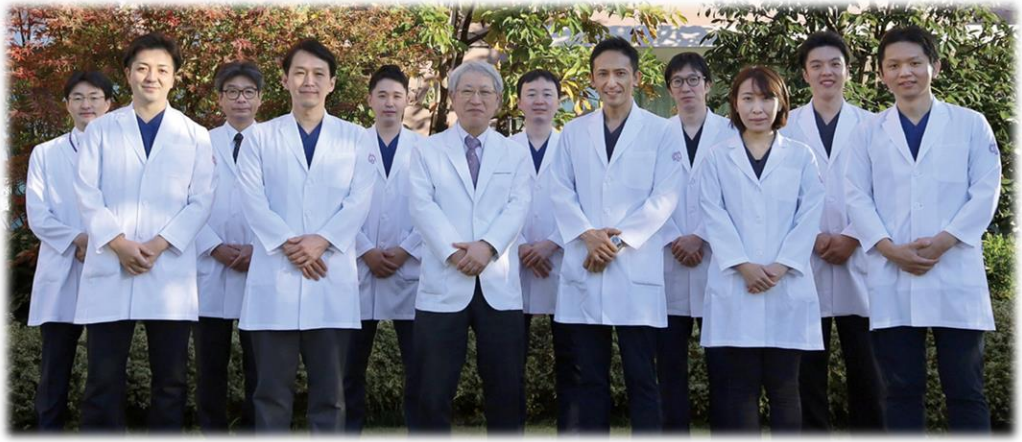
# 心臓血管外科

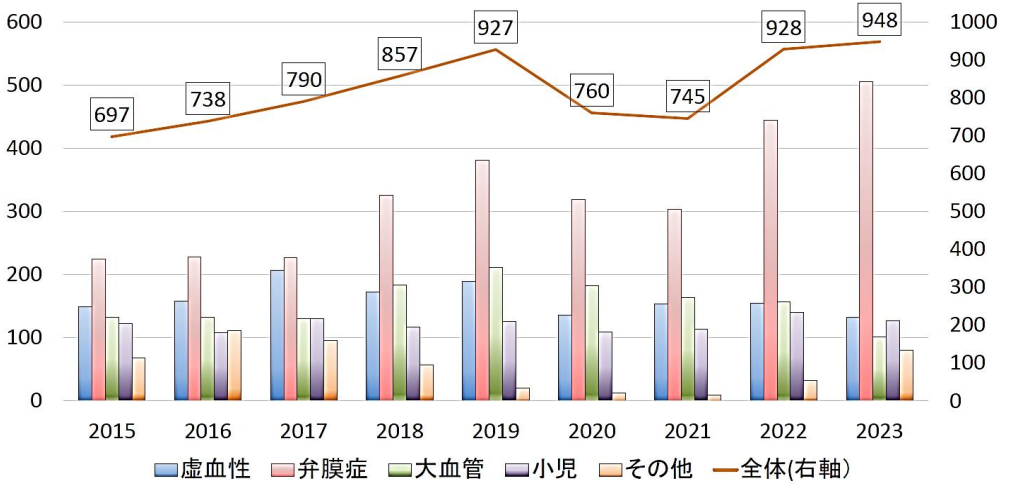
## 主な疾病/治療対象

- 僧帽弁閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症
- 大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症
- 三尖弁閉鎖不全症、三尖弁狭窄症
- 心房細動、狭心症、心臓腫瘍
- 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤
- 先天性心疾患(新生児～成人まで)
- 末梢動脈疾患、下肢静脈瘤

## 診療科の特徴

- 重症もNo Refusalでトップレベルの手術実績
- 翌日歩行と食事開始のFast Track Recovery
- 冠動脈バイパス手術ではパイオニア的実績があり、びまん性病変、低左室機能にも動脈グラフトオフポンプ手術を施行し、上皇陛下の手術を実施
- 大動脈弁狭窄症のハイリスク症例にはTAVI、スーチャーレス弁置換術を先駆的に導入
- 閉塞性肥大型心筋症に対する先進手術を導入






疾患別手術症例の推移(重複含む)

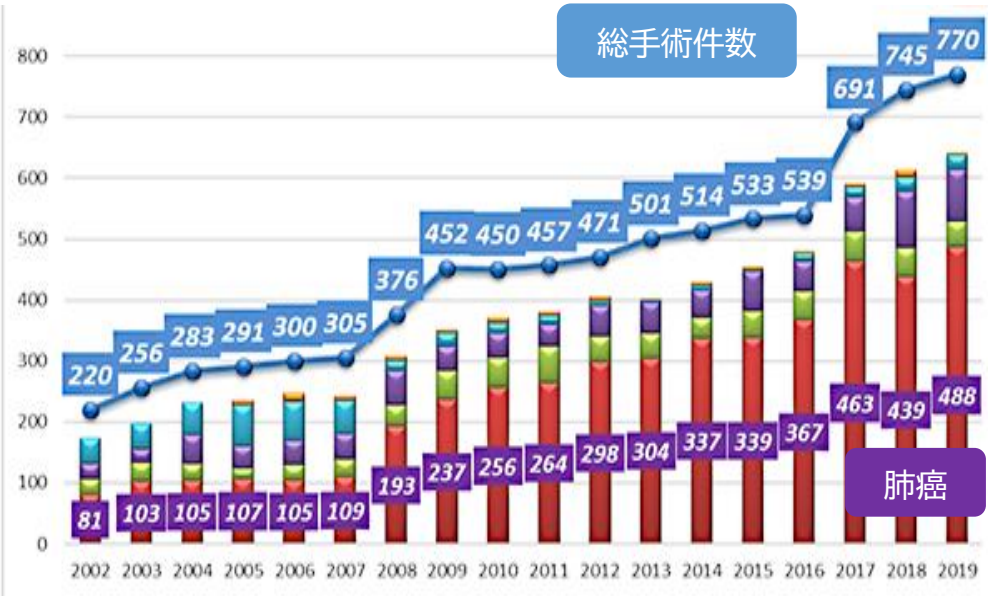
# 呼吸器外科

## 主な疾病/治療対象

- 原発性肺がん、転移性肺がん
- 良性肺腫瘍（過誤腫など）
- 縦隔腫瘍（胸腺腫、神経原性腫瘍など）
- 中皮腫など

## 診療科の特徴

- 手術件数が年間700例を超える国内有数の実績
- 肺癌・縦隔腫瘍に対しダ・ヴィンチ手術を施行
- 進行がんには徹底した拡大手術（気管支形成術など）
- 肺気腫・狭心症・糖尿病などのハイリスク症例にも対応




手術件数推移

# 小児外科・小児泌尿生殖器外科

## 主な疾病/治療対象

全ての小児外科手術、小児泌尿器手術が対象

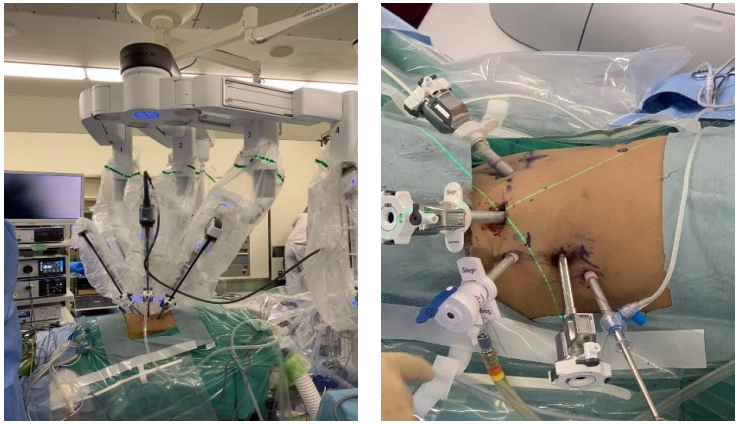
- ロボット支援下手術
  （胆道拡張症、腎盂尿管移行部狭窄症、縦隔腫瘍、etc）
- 腹腔鏡下手術
  （胆道閉鎖症、ヒルシュスプルング病、鎖肛、etc）
- 胸腔鏡下手術
  （漏斗胸、先天性肺気道奇形、etc）
- 新生児手術
  （横隔膜ヘルニア、食道閉鎖症、先天性腸閉鎖、etc）
- 小児泌尿器手術
  （尿道下裂、膀胱尿管逆流症、水腎症、etc）
- 小児固形腫瘍手術
  （神経芽腫、Wilms腫瘍、仙尾部奇形腫、etc）

当科のロボット支援下手術
(da Vinci)について:
診療科ホームページ / YouTube

ホームページ

## 診療科の特徴

- 1968年に、日本で最初の小児外科学講座として誕生
- 高度な専門性を有するチーム医療で患児にとって最も安全かつ低侵襲な治療を提供する。
- 多くの医師が留学を経験しており、英語対応可能。
- 小児外科の世界的pioneerとして常に海外からの留学生を受け入れている。
- 年間手術件数は約1,200件（うち新生児手術50-70例）



ロボット支援下腎盂形成術（ダヴィンチ）

# 脳神経外科

## 主な疾病/治療対象

- 脳腫瘍（髄膜腫、神経膠腫など）
- 脳血管疾患（脳動脈瘤、脳動静脈奇形など）
- 神経機能外科（てんかん、不随意運動、正常圧水頭症など）
- 脊椎・脊髄外科（脊髄腫瘍、椎間板ヘルニアなど）
- 小児脳神経外科（小児脳腫瘍、先天奇形など）

## 診療科の特徴

- 日本脳神経外科学史上、最も伝統ある脳神経外科学教室の一つ
- 脳腫瘍、神経機能外科、脳血管内治療は、日本国内トップクラスの症例数
- 救急科、脳神経内科と共に脳卒中の24時間365日の救急対応、術中MRI装置などの高度先進医療機器を配備
- 小児脳神経外科は、腫瘍、てんかん、先天奇形まですべての分野に対応し、症例数も日本全国有数
- 脳神経内科と連携し、パーキンソン病に対し脳深部刺激療法を行っている

手術室内MRI装置

脳神経外科 診療実績

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|
| **手術総数** | **1,163** | **1,213** | **1,071** |
| 脳腫瘍 | 236 | 288 | 275 |
| 脳血管障害（直達手術） | 48 | 45 | 25 |
| 外傷 | 36 | 38 | 42 |
| 先天奇形（水頭症は含まず） | 8 | 11 | 25 |
| 水頭症 | 113 | 108 | 118 |
| てんかん | 90 | 82 | 78 |
| 脊椎脊髄 | 114 | 149 | 138 |
| DBS | 108 | 87 | 87 |
| 微小血管減圧術 | 13 | 17 | 7 |
| 血管内手術 | 360 | 328 | 251 |
| その他 | 37 | 60 | 18 |

# 整形外科・スポーツ診療科

## 主な疾病/治療対象

- 変形性関節症
  （膝関節・股関節・肩関節・足関節・手など）
- 脊椎疾患
  （脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニア・脊柱変形など）
- スポーツ外傷・障害
  （肩関節・膝関節・足関節など）
- 骨軟部腫瘍
- 手の外傷、変形疾患
- 骨代謝性疾患（骨粗鬆症など）
- 関節リウマチ

## 診療科の特徴

- 当科の医師は各専門分野のスペシャリストである
- 現存するいかなる治療法にも、メリット、デメリット、そして限界があることを十分に理解している
- 全ての運動器疾患患者に適切な選択肢を提示し、安全・安心な先端医療を提供し治療にあたっている

2023年 主な手術実績

| 治療名 | 症例数 |
|---|---|
| 膝の手術 | 448 |
| 脊椎の手術 | 444 |
| 手・肘の手術 | 394 |
| 股関節の手術（人工股関節全置換術） | 240 |
| 肩の手術 | 211 |
| 足の手術 | 186 |
| 骨軟部腫瘍の手術 | 135 |

# 形成外科

## 主な疾病/治療対象

- 小児先天異常
  （口唇口蓋裂、多合指症、頭蓋骨早期癒合症、レーザー治療など）
- 良性・悪性腫瘍切除及び切除後の再建
  （頭頸部再建、四肢再建、乳房再建など）
- 難治性潰瘍（下肢を中心に全身性）
- 顎顔面疾患（顔面神経麻痺など）
- 外傷性疾患（顔面骨骨折、四肢裂創など）
- 抗加齢医療（眼瞼下垂など）

## 診療科の特徴

- 全国有数の症例数の乳腺センターと連携し、患者ニーズにあった乳房再建が実施可能（自家組織再建/人工乳房再建/脂肪移植）
- 小児科・脳神経外科と連携し、頭蓋骨早期癒合症に対する頭蓋形成術や小児先天異常の患者に対応可能
- 耳鼻科・皮膚科・整形外科などと連携し、悪性腫瘍切除や切除後の再建を施行可能
- 再生医療を用いた下肢潰瘍治療が進行中

外来手術・入院手術件数　年次推移

# 皮膚科

## 主な疾病/治療対象

- 乾癬
- アトピー性皮膚炎
- 皮膚悪性腫瘍
- 円形脱毛症
- 自己免疫性水疱症など

## 診療科の特徴

- 入院治療では、皮膚腫瘍に対する手術療法、皮膚悪性腫瘍に対する化学療法、水疱症や重症薬疹の他、蜂窩織炎、帯状疱疹などの各種感染症に対する全身管理、先天性表皮水疱症や難治性皮膚潰瘍に対して植皮術などを行っている。
- 外来診療においては、重症の乾癬、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹に対して生物学的製剤をはじめとする全身治療を行っている。
- 円形脱毛症に対して、JAK阻害薬による内服加療、入院によるステロイドパルス療法、局所免疫療法、NB-UVB、エキシマライトによる治療を行っている。

### 2023年度 外来診療

| | 患者数(名) |
|---|---|
| 一日平均外来患者数 | 220 |
| 初診患者数 | 2,059 |
| うち紹介状持参患者数 | 1,491 |

外来で行う検査として、各種血液検査、真菌(水虫)検査、パッチテスト、ダーモスコピー、皮膚生検などを行っています。また小さな「ほくろ」の切除や陥入爪根治術など、症状と部位によっては外来での手術も行います。その他、光線療法(PUVA、NB-UVB、エキシマランプなど)、レーザー療法(炭酸ガスレーザーなど)も行っています。

### 2023年度 入院診療

| | 患者数(名) |
|---|---|
| 退院患者数 | 262 |

入院手術

| | 患者数(件) |
|---|---|
| 皮膚良性腫瘍 | 45 |
| 皮膚悪性腫瘍 | 62 |
| その他(膿皮症、皮膚移植など) | 46 |
| **合計** | **153** |

入院診療は手術以外にも、アトピー性皮膚炎や円形脱毛症、重症薬疹、帯状疱疹、天疱瘡や類天疱瘡、皮膚潰瘍、皮膚がんの化学療法など幅広い疾患を対象として行っています。光線療法、血漿交換療法、短期ステロイドパルス療法などを症例により適応します。

# 泌尿器科

## 主な疾病/治療対象

- 腎臓がん、膀胱がん、前立腺がん
- 前立腺肥大症・排尿障害
- 尿失禁・骨盤臓器脱
- 多発性嚢胞腎、結節性硬化症
- 腎移植

## 診療科の特徴

- 前立腺がん、腎臓がん、膀胱がんに対するロボット支援手術。手術件数は日本においてトップクラス
- 治療が困難な進行がん治療にも取り組み
- 排尿障害、骨盤臓器脱に最新治療。前立腺外来では、前立腺肥大症に対する最新の低侵襲治療技術(レーザー手術やウォータージェット治療など)も実施
- 難病である多発性嚢胞腎、結節性硬化症の薬物治療
- 血液型不適合症例も含めて腎移植を安全に施行

2023年 手術診療実績

| 部位 | 症例数 |
|---|---|
| 副腎 | 17 |
| 腎 | 199 |
| 尿管 | 162 |
| 腎盂 | 1 |
| 膀胱 | 207 |
| 前立腺 | 560 |
| 尿道 | 1 |
| 陰茎 | 1 |
| 精巣 | 15 |
| 後腹膜腔 | 1 |
| その他 | 5 |
| 総計 | 1,169 |

# 眼科

## 主な疾病/治療対象

- 近視、乱視
- 斜視、眼瞼下垂
- 白内障、緑内障
- 角膜移植
- 網膜剥離、網膜色素変性症
- 網膜硝子体疾患
- 炎症性眼疾患など

## 診療科の特徴

- 昭和38年に日本で最初に順天堂アイバンクが許可され、角膜移植手術は多くの症例を実施
- コンタクトレンズを日本で最初に導入し、現在コンタクトレンズ外来で特殊コンタクトレンズへの対応に力を入れている
- 大学病院において、日本唯一のスポーツ眼科専門外来を持つ
- 小児の先天性斜視は小児眼科外来、成人の場合は斜視専門外来で対応
- 近視や乱視について、PRKやLASIKによる屈折矯正手術も実施
- ロボテックスを導入した硝子体手術を実施

## 2023年 診療実績

| | | |
|---|---|---|
| 入院手術<br>（12歳以上） | 白内障 | 1,522件 |
| | 緑内障 | 303件 |
| | 角膜移植<br>（内 フェムトセカンドレーザー使用件数） | 40件<br>（2件） |
| | 網膜剥離 | 199件 |
| | 硝子体手術（剥離以外） | 401件 |
| | その他 | 132件 |
| 外来手術<br>（12歳以上） | 斜視・眼瞼下垂等 | 96件 |
| | 日帰り白内障 | 120件 |
| 小児眼科手術<br>（12歳未満） | 斜視、眼瞼下垂等 | 146件 |
| | 白内障、緑内障、網膜硝子体疾患等 | 60件 |
| エキシマレーザー手術 | PTK | 64件 |
| 総手術件数 | | 3,083件 |

# 耳鼻咽喉・頭頸科

## 主な疾病/治療対象（グループ）

- 耳の疾患（慢性中耳炎、中耳真珠腫、耳硬化症など）
- 鼻の疾患（慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎など）
- 頭頸部疾患（口腔・喉頭・咽頭がん、唾液腺がん、甲状腺がん、副鼻腔がん、バセドウ病に対する外科的治療、頭頸部良性腫瘍など）
- その他（睡眠時無呼吸症候群、顔面神経麻痺、眩暈症、音声外来）

## 診療科の特徴

- 頭頸部がんに対する、手術、放射線、化学療法（抗PD-1抗体や動注療法）など集学的治療。機能温存治療
- 副鼻腔腫瘍に対する内視鏡下切除・頭蓋底手術
- 中咽頭がんに対する経口的ロボット手術、鼻副鼻腔がんへの超選択的動注療法、切除不能再発頭頸部がんに対する光免疫療法などの低侵襲な方法で機能を温存し、患者さんのQOLを高める
- 耳硬化症に対する炭酸レーザーを用いたアブミ骨手術や難聴に対する原因遺伝子解析・人工内耳手術や骨固定型補聴器などの先進医療も実施
- 慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術

2023年度 手術診療実績

| 治療名 | 症例数 |
|---|---|
| 鼻科手術 | 656 |
| 耳科手術 | 259 |
| 頭頚部手術 | 556 |
| 咽喉頭手術 | 344 |
| **総手術件数** | **1,815** |

# 放射線科（診断部門）

- 当院のCT、MRIなどの画像診断機器を用いて各科から依頼のある画像診断検査を行う
- 外来では、医療連携などご紹介頂いた患者の画像検査及び読影の結果説明のほか、低侵襲外来も行っている

## 画像診断検査

- 検査計画を立て、質の高いレポートを各診療科に報告するまでを一貫して行っている
- 2023年度の主な検査別患者数は、CT検査：99,827例、MRI検査：72,017例、超音波検査：8,430例、核医学検査：4,850例、PET-CT検査：3,147例、血管造影検査：536例

## 低侵襲治療　（IVR: Interventional Radiology）

- 腎血管筋脂肪腫に対する予防的腎動脈塞栓術、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術、術後や消化管出血に対する動脈塞栓術を多数施行
- 中心静脈用ポート留置術、CTガイド下針生検、マンモトームによる乳房生検も実施
  2017年度から腎腫瘍に対する凍結治療を実施

2023年4月～2024年3月
主なIVR別診療実績　（合計 536例）

| 診療名 | 症例数 |
|---|---|
| 中心静脈用ポート留置術 | 153 |
| マンモトーム生検術 | 57 |
| CTガイド生検 | 62 |
| 副腎静脈サンプリング | 16 |
| 肝動脈化学塞栓術 | 14 |
| 子宮動脈塞栓術（筋腫・止血目的） | 12 |
| 抗がん剤等の動脈注入 | 35 |
| その他 | 187 |

# 放射線科（治療部門）

## 主な疾病/治療対象

- 乳がん、前立腺がん、肺がん、食道がん、頭頸部がん、脳腫瘍、悪性リンパ腫、骨転移、脳転移などあらゆる悪性腫瘍（がん）
- ケロイド、甲状腺眼症など良性の病気

## 診療科の特徴

- 標準治療を中心に、患者さん毎に適した医療を提供します
- 他院からのご紹介にも迅速に対応します
- 「お待たせしない医療」を心がけています
- 高精度放射線治療（強度変調放射線治療：IMRT、定位放射線治療：SRT/SBRT、画像誘導放射線治療：IGRTなど）を行っています
- 子宮がんの密封小線源治療（RALS）を鎮痛/鎮静下で行っており、痛みの少ない治療が可能です
- 看護外来：患者さんの苦痛とケアに対応しています

2023年
部位別新規治療件数

| 部位別新規治療件数 | 症例数 |
|---|---|
| 頭部（脳腫瘍等） | 33 |
| 頭頸部 | 88 |
| 胸部（乳腺以外） | 131 |
| 乳腺 | 235 |
| 腹部 | 116 |
| 前立腺 | 91 |
| 婦人科 | 58 |
| 骨・皮膚 | 12 |
| 造血器 | 53 |
| その他部位 | 17 |
| 良性の病気 | 8 |
| 合計 | 842 |

2023年
特殊治療件数

| 特殊治療件数 | 症例数 |
|---|---|
| 強度変調放射線治療（IMRT） | 285 |
| 体幹部定位放射線治療（SBRT） | 52 |
| 脳定位放射線治療（SRT, SRS） | 55 |
| 密封小線源治療（RALS） | 22 |
| 全身照射（TBI） | 21 |
| 合計 | 435 |

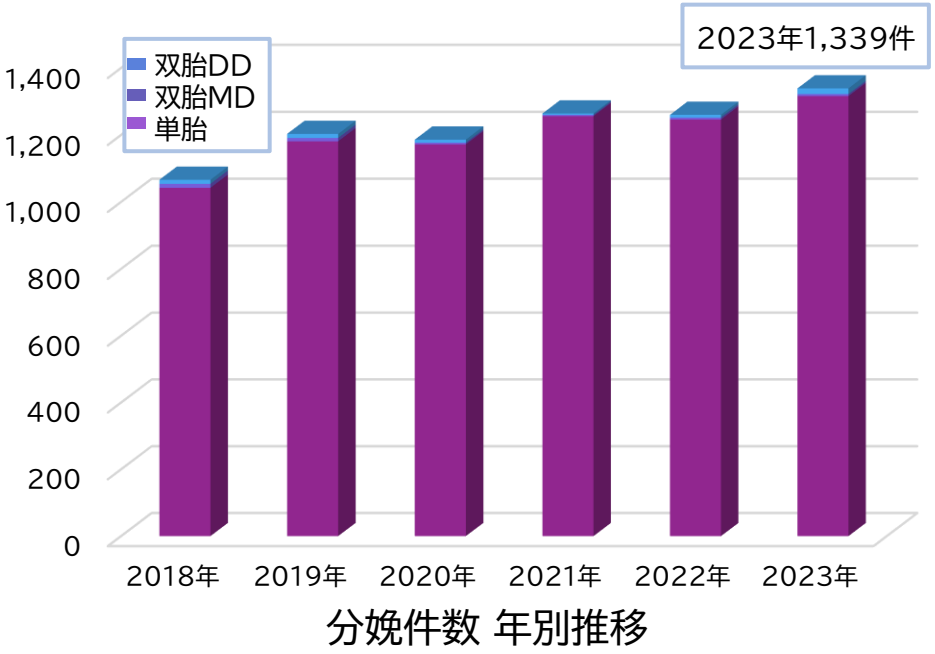
# 産科

## 主な疾病/治療対象

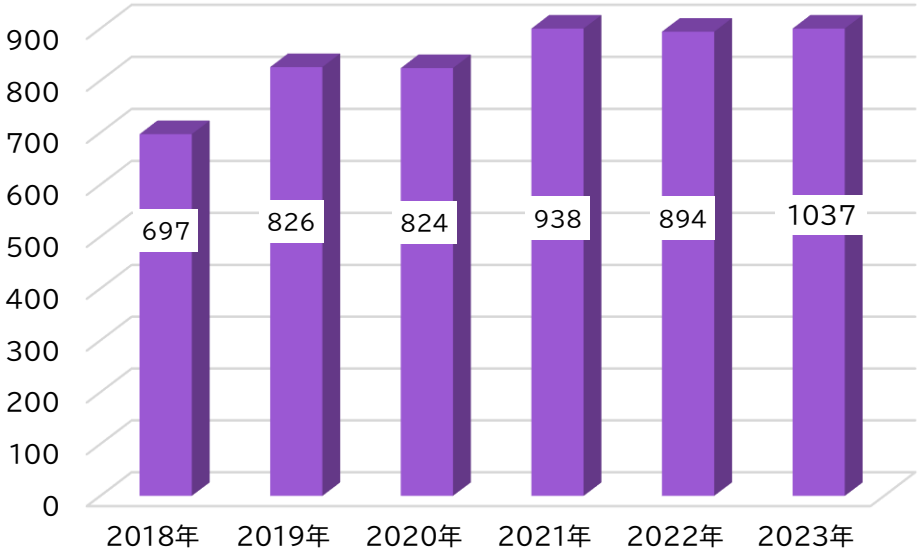
- 正常妊娠
- 母体合併症のある妊娠、分娩
- 胎児異常の診断、管理
- 無痛分娩など

## 診療科の特徴

- 東京都指定の地域周産期医療センターに指定され、母体搬入の受入を積極的に行っている
- 麻酔科医と連携し、24時間体制で無痛分娩を実施
- 無痛分娩に関する研究、子宮筋収縮のメカニズムの研究、GBS感染症の迅速診断の研究、就労妊婦に関する調査、先天性疾患のヒトゲノムの解析などを行っている




分娩件数 年別推移




無痛分娩数 年別推移

# 婦人科

## 主な疾病/治療対象

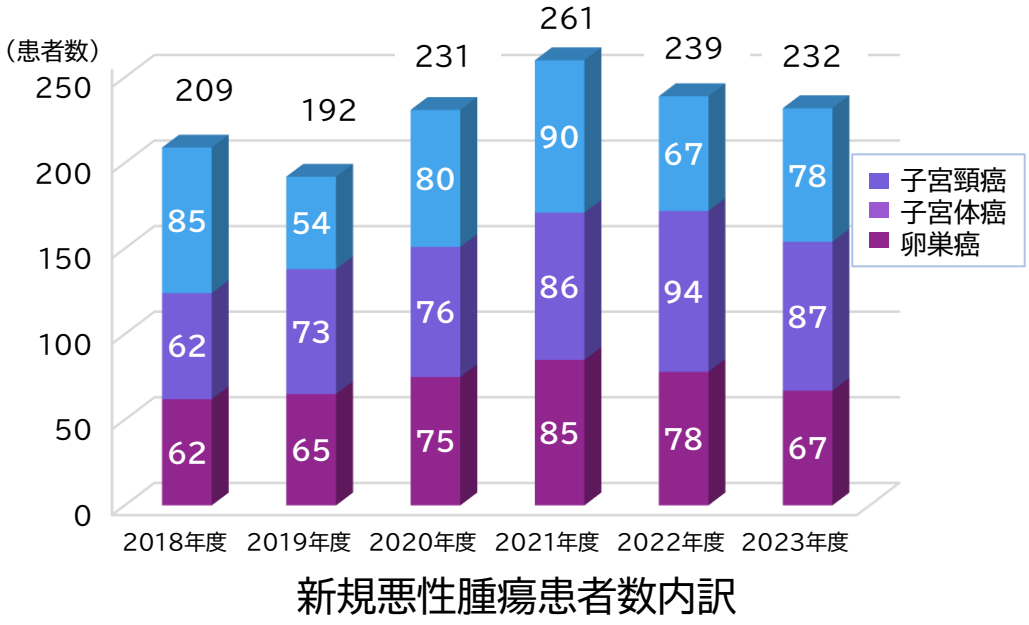
- 子宮筋腫、子宮腺筋症
- 子宮体癌、子宮頸がん
- 卵巣腫瘍(良性・悪性腫瘍)
- 更年期障害、女性アスリート外来
- 不妊治療

## 診療科の特徴

- 日本有数の症例数を誇る腹腔鏡手術
- 婦人科良性疾患の85%は低侵襲治療を実施
- 良性疾患や悪性疾患(子宮体がん等)に対してはロボット支援下手術を実施
- 手術療法・化学療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療

### 低侵襲手術 腹腔鏡下手術内訳(ロボット支援下手術含む)

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 腹腔鏡下子宮全摘術(ロボット支援下手術含む) | 223 | 221 | 233 | 239 | 248 | 265 |
| 内 ロボット支援下手術 | 4 | 29 | 59 | 81 | 104 | 98 |
| 腹腔鏡下子宮筋腫核出術 | 165 | 147 | 121 | 115 | 113 | 134 |
| 腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術 | 179 | 168 | 179 | 208 | 157 | 144 |
| 腹腔鏡下付属器切除術 | 83 | 97 | 82 | 79 | 101 | 64 |
| 腹腔鏡下卵管切除術 | 10 | 24 | 15 | 19 | 13 | 11 |
| その他 | 5 | 12 | 4 | 8 | 16 | 24 |
| 合計 | 655 | 669 | 634 | 668 | 648 | 642 |




新規悪性腫瘍患者数内訳

# 救急科

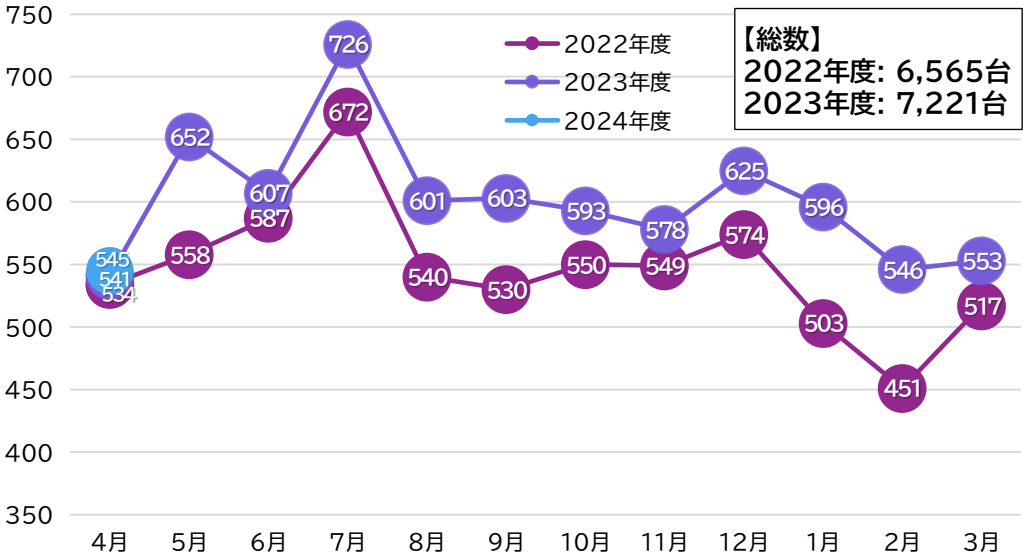
## 主な疾病/治療対象

- 救命救急疾患
  （心肺停止、外傷、中毒、ショック、敗血症、熱傷、熱中症、アナフィラキシーなど）
- 急性期疾患
  （意識障害、めまい、頭痛、発熱、動悸、胸痛、腹痛、吐き気、下痢など）

## 診療科の特徴

- 東京都指定救急医療機関として、地域の医療機関と連携・役割分担しながら積極的に救急患者の受入を実施
- 災害拠点病院としてDMATチームを運営
- 院内急変時対応コール（J-STAT）への対応
- 各診療科の入院患者が予期せぬ重症化の際の相談先
- HCU（High Care Unit, 準集中治療質）16床と一般救急病床11床の計27床の入院加療
- 病院救急車を活用したプレホスピタル業務
- 病院救急救命士と多職種連携による救急診療

救急診療を実施する職種チーム




救急車受入台数

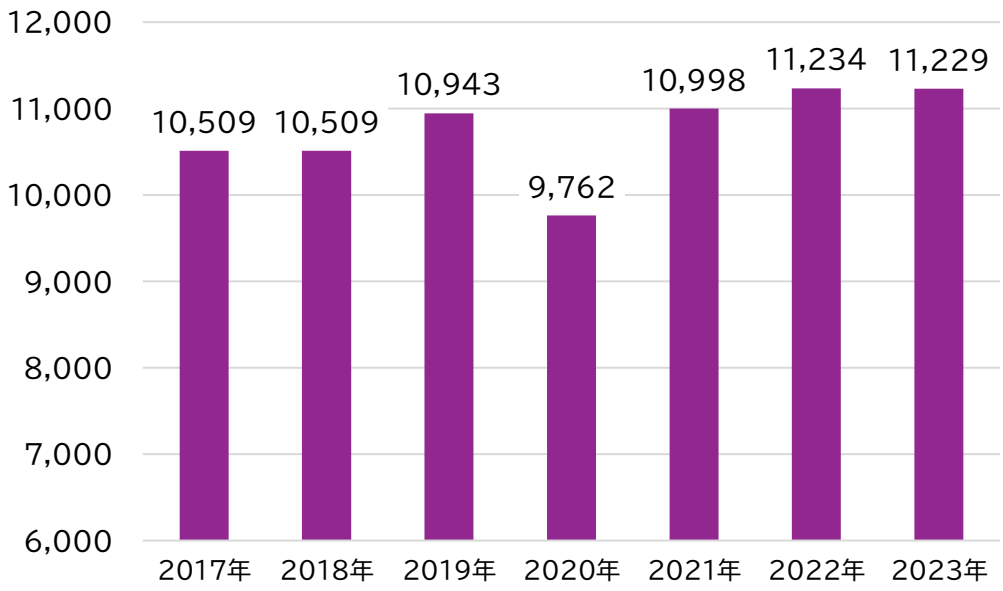
# 麻酔科・ペインクリニック（手術部門）

## 主な疾病/治療対象

- 手術前診察
- 手術麻酔管理
- 術後管理
- 集中治療室管理
- 産科麻酔（無痛分娩）

## 診療科の特徴

- 27部屋の手術室で麻酔の計画及び実施、術後の全身管理を通して患者の安全を守る
- 手術室併設の集中治療室において、心臓手術など大きな手術を終えた術後全身管理が必要な患者、また病院内で疾患が重症化した患者を対象とし、麻酔科を中心に各診療科や看護師・臨床工学士などのコメディカルと連携を取っている
- 24時間体制で産科麻酔チームが無痛分娩や帝王切開に対応。




手術部門　麻酔管理症例数の推移

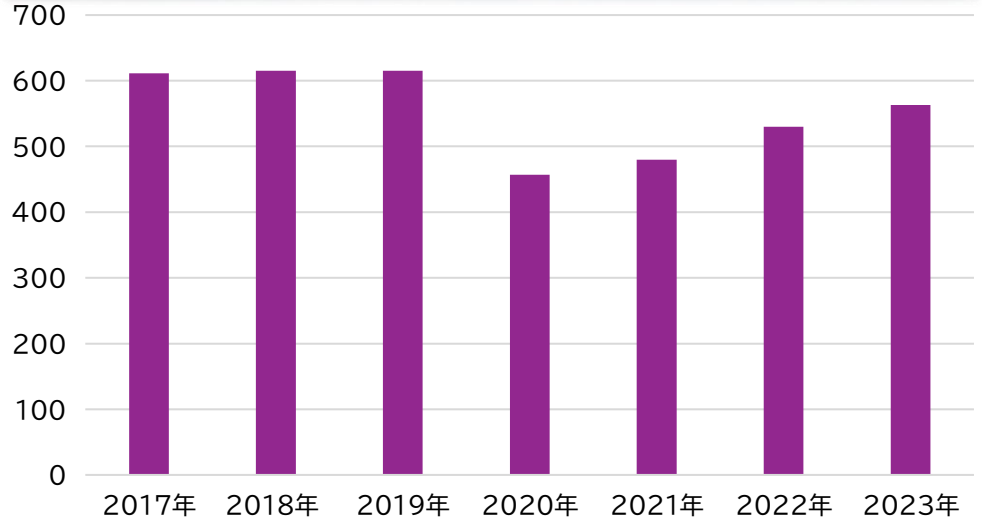
# 麻酔科・ペインクリニック（ペインクリニック部門）

## 主な疾病/治療対象

- 頭痛、三叉神経痛、各種術後痛
- 帯状疱疹痛・帯状疱疹後神経痛や糖尿病性神経障害、血流障害による痛み
- 脊椎疾患
- 複合性局所疼痛症候群
- がん性疼痛など

## 診療科の特徴

- ペインクリニックでは低侵襲治療（神経ブロック、高周波熱凝固療法、脊髄刺激療法、硬膜外内視鏡）を行い、薬物療法と併用し、入院治療も可能
- 三叉神経痛、脊椎疾患、帯状疱疹痛、がん疼痛等の低侵襲治療の適応が高い疾患には、レントゲンや超音波エコーを使い、確実にできるだけ速やかな痛みの緩和を心がけている
- 入院治療として三叉神経痛に対するガッセル神経節熱凝固、難治性痛に対する脊髄刺激療法、腰椎術後の腰下肢痛などに対する硬膜外内視鏡を施行




ペインクリニック（痛みの治療）部門
初診患者数の推移

# メンタルクリニック

## 主な疾病/治療対象

- 不安障害、ストレス関連障害
- 気分障害、身体表現性障害
- 他の医学的疾患による精神疾患
- 統合失調症
- 発達障害　など

## 診療科の特徴

- 順天堂医院6附属病院にてそれぞれのメンタルクリニックが機能分化しながら結合し、全人的な精神医療を実施
- 都内の大学病院で初めて東京都精神科患者身体合併症医療事業の担当病院に指定
- 脳神経内科と連携し、パーキンソン病などの神経変性疾患に伴う気分症状の診断・治療に注力
- 気分障害センターを設立し、うつ病・双極性障害等の気分障害の治療にも注力。双極性障害については、気分障害分子病態学講座と連携し、先端技術を用いた分子生物学的研究を進めている

2023年度 外来初診患者の疾患(人)

| | |
|---|---|
| F4：不安障害、強迫性障害, ストレス関連障害、身体表現性障害等 | 397 |
| F0：症状性を含む器質性精神障害、認知症など | 329 |
| F3：うつ病、双極性障害など | 247 |
| F5：不眠症、摂食障害など | 81 |
| F2：統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 | 56 |
| F8：心理的発達の障害 | 41 |
| F1：精神作用物質使用による精神および行動の障害 | 14 |
| F6：成人の人格および行動の障害 | 13 |
| F9：小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 | 10 |
| F7：知的障害 | 9 |
| その他 | 84 |

# リハビリテーション科

## 主な疾病/治療対象

- 運動麻痺・手足の痙縮
- 歩行障害
- 嚥下機能障害・高次脳機能障害

## 診療科の特徴

- リハビリテーション治療では運動療法だけではなく、電気刺激、経頭蓋磁気刺激などを用いて物理医学的治療を行っている
- 痙縮による運動障害ではボツリヌス治療を施行
- 失われた機能を代償する手段として、先端のロボット工学や神経科学を応用したリハビリテーション医療機器を使い分け、高レベルの生活の質の獲得を目指す
- 脳卒中片麻痺患者の上肢機能を改善させるHANDS therapyを開発し、世界に向けて発信
- 世界に先駆けて非侵襲的に脊髄の歩行神経回路を刺激し機能回復を目指すFAST walkの開発

### 2023年度 患者症例数内訳

| 入院患者 | |
|---|---|
| 疾患名 | 患者数 |
| 脳血管疾患リハビリテーション | 4,788 |
| 運動器リハビリテーション | 3,086 |
| 呼吸器リハビリテーション | 1,215 |
| 心大血管リハビリテーション | 1,922 |
| がん患者リハビリテーション | 1,577 |
| 廃用症候群 | 48 |

| 外来(新規)患者 | |
|---|---|
| 疾患名 | 患者数 |
| ボツリヌス療法外来 | 183 |
| 装具外来 | 369 |
| ロボットリハビリテーション | 84 |

### 2023年度 リハビリテーション処方内訳

| | 件数 |
|---|---|
| 理学療法 | 9,505 |
| 作業療法 | 1,783 |
| 言語聴覚療法 | 1,298 |
| 総処方数 | 12,586 |

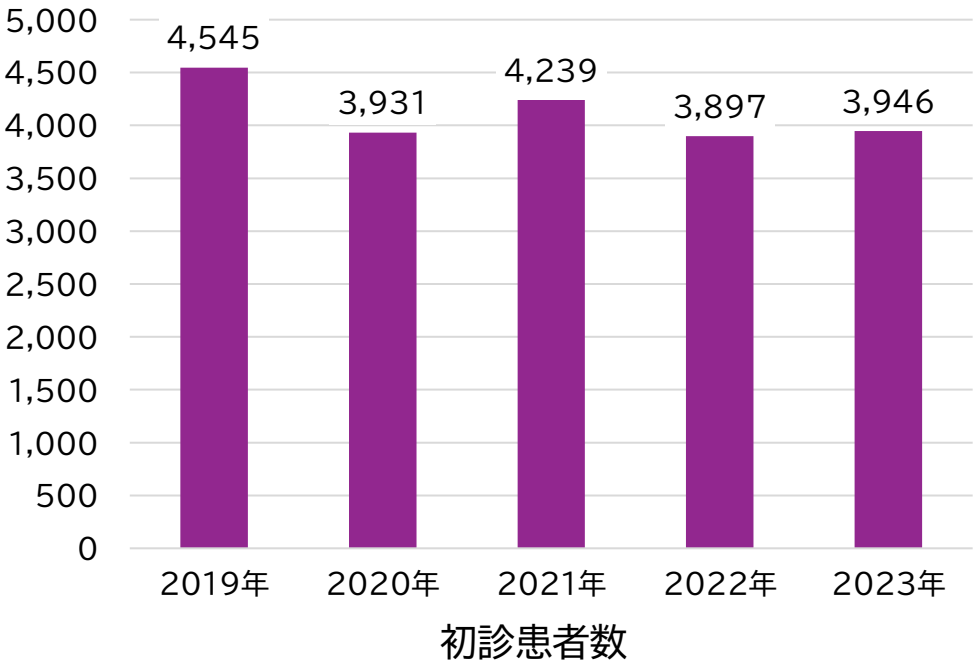
# 歯科口腔外科

## 主な疾病/治療対象

- 観血的歯科治療
  抜歯、嚢胞、腫瘍等
- 顎関節症、顎骨骨折
- 口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、炎症
- 周術期口腔機能管理
- 口腔インプラント
- 睡眠時無呼吸症
- 入院患者の歯科治療

## 診療科の特徴

- 困難な抜歯や嚢胞、インプラント等の口腔外科手術を実施
- 専門外来はインプラント外来、顎関節症外来、睡眠時無呼吸症外来、歯科再生医療外来を開設
- 医科診療科と連携して、がん患者の周術期口腔管理を実施している



# 順天堂大学医学部附属順天堂医院

# Juntendo University Hospital

# 順天堂大学医学部附属順天堂医院

国際診療部
Department of International Healthcare
2024